

意見
要約

【分科会のテーマに関するもの】

1 窓口業務課レイアウト

○ユニバーサルレイアウトの採用について (④-i-a レイアウト)

- ・(職員) 現況は、机の移動をすると、レイアウトが悪くなるため、フリーオフィスにして、人のみの移動にしようという考え。

(参考事例) 川崎市の区役所

- ・(職員) 間仕切りのないレイアウトは、年度末の異動の際には、人のみの移動で可能となる。什器などの新規購入は必要となってくる。

- ・庁舎が新しくなると、今ある机などはどうなるのか。

→(職員) 既存の机など、残せるものは残して考えていきたいが選択は狭まる。家具メーカーからの提案では、全て入れ替える自治体が多いとのこと。

- ・(職員) 現在1階は、職員数が多いため、課及び職員の配置にバラつきがあるので、配置について考えなければならない。

- ・現状は、異動の時、机はどう移動するのか。

→(職員) 机を置いて中身だけ移動する。課内だけの異動では、机ごと移動することもある。現在の市役所は、フリーアクセスフロアではないため、FAXやプリンターなどによって課のレイアウトを考えているので、制約され、自由が利かない。

- ・役所は職員の荷物が非常に多いと考える。ユニバーサルレイアウトにすると、職員の不満もでてくるのでは。ワゴンに個人貸与し、ワゴンの収納量までを個人の荷物とし、それ以上の物については、自宅に持ち帰るようにするなどが必要。

→(職員) 異動になった際、不要な書類は捨てる必要がある。

- ・ユニバーサルレイアウトのメリットは良いが、長机では、個人の業務スペースに明確な区分けがないので、仕事は捗るのか、という考え方もある。

- ・職員の慣れは必要。職員の方の意見を参考にしてはどうか。
- ・官公庁にユニバーサルレイアウトが馴染むのか疑問に思う。
- ・プライバシーの観点からも、カーテンやパーテーションが必要な場合も出てくる。
→（職員）検討が必要。レイアウトには、役職順も検討していかなければならない。
- ・朝出勤するとスイッチでランダムに席順が変わるのも良いのではないか。
（民間企業で事例あり）
- ・ユニバーサルレイアウトは、机上整理できる人とできない人で差が出てくる。
→（職員）クリアデスクの考えを持って、就業時にはデスクには書類を置かない態勢となる。

○窓口カウンター・イスのレイアウト・通路について

（参考事例）青梅市役所、町田市役所

- ・（職員）ユニバーサルデザインの観点から、通路幅や機能を確保してイスやカウンターを配置し、執務スペース、窓口スペースについては、バリアフリー基準に基づいたレイアウトとする。
- ・ユニバーサルデザインにより通路スペース等が拡張されることで市民の憩いの場となるようなスペースができるのでは。
- ・敷地内のどこにどれだけの規模の庁舎を建てるのかということによっても違ってくる。
- ・ユニバーサルデザインでスペースが確保されることで、冷暖房のコストもかかることが考えられる。
- ・贅沢にスペースを取りすぎる可能性もあるのでは。

・コストのことを考えるとどうかなとも思う。

→（職員）残業をする課だけ、スポット的に空調が使うことができれば良いと思う。

・市役所が実施することで、他の事業所が実施するところもある。見本となるような庁舎となれば良い。

○セキュリティ関係について（④-i-b セキュリティ関係）

・（職員）共有スペースと執務スペースを明確化しエリアを分ける。業者を立ち入らせないような工夫が必要かなと思う。設計期間中は業者等が入れないよう柵を設けていたこともある。

・金融機関の窓口のような低いドア状の仕切りを設ける方法も良いのでは。

○バックヤードについて（④-i-c バックヤード）

・休憩スペースは各フロアごとに必要か。コンビニのような休憩スペースでも良いのでは。倉庫になってしまわないか。

→（職員）休憩スペースは、昼休み中1時間の利用を考える。自席で昼食をとっているが、窓口対応が必要な課は交代で休憩スペースを利用するような使い方となる。

・一般市民でも使用できる休憩室が良い。

・シャワー室までいるのか。

→（職員）今も宿直室にシャワー室がある。

・泊まりで業務にあたる職員もいるのか。

→（職員）道路河川課などは、除雪対応で夜間業務にあたることもある。仮眠スペースがないため、会議室で仮眠を取っている。シャワー室が本当に必要なかどうか検討しなければならない。

- ・使う頻度が高ければ良いが、年に数回程度または、常に同じ職員だけが使うのならば必要ないのでは。

→（職員）現在あるシャワー室の使用頻度等を検証する必要がある。

- ・災害時には、庁舎は避難場所としての機能はあるのか。（付近の住民だけになってしまう可能性がある。）

→（職員）市民ホールまたは、コミュニティーホールの設置を考えているので、ここに対応することはできると考える。災害時には、停電等も考えられ、電源確保が必要となってくる。通常だと、軽油の非常用発電機が必要となるが、水素を利用した発電システム H2One を積極的に検討しようとしている。採用となれば、役所としては珍しいシステムとなる。

2 ライフサイクルコスト削減

○自然採光、自然換気の促進について（④-ii-f ライフサイクルコストの削減）

- ・今現在は、太陽光発電は何キロワットなのか。

→（職員）防災センターに太陽光発電はあるが、スペースの問題もあり、防災センター全ての電力を賄うことはできていない。（防災センターは、10キロワット）

- ・床吹出空調は、維持管理の面では、どうなのか。

- ・吹出口をつけたところで、効率は良くなるのか。

→（職員）吹出口の場所については、検討が必要

○長寿命化について

- ・どれだけの年数を目指すのか。

→（職員）減価償却上は、50年。実際はそれ以上になる。目標は70年。

- ・鉄骨造になるのか。

→（職員）鉄筋コンクリート造になると思う。耐用年数は鉄筋コンクリー

ト造のほうが長い。

・今の庁舎で建築してから何年か。

→（職員）43年。減価償却年数は50年。耐震の問題が一番にある。

・（職員）光熱費を今後削減できる方法を考えて行く。

・最近では、トイレの排水に雨水を利用した建物もあるというが得するのか。

→（職員）水を貯められる場所があればそういった機能を活用することができるが、水の質は上水道に比べれば落ちるため、機器への影響が考えられる。検討することが大事だと思う。

・この庁舎は解体時に突出してコストがかかる建物なのか。使っている時の利便性の方が大きいと思う。

→（職員）解体時のコストも考慮した構造を考えるのは、優先度としては低い。市民の利便性を優先して比較検討していく。

○書庫・倉庫について（④-i-e 書庫・倉庫）

・（職員）文書管理について、民間業者はどのように管理しているのか、何か良い案があれば意見をいただきたい。

→1年たっても使用しない書類は処分する。

→東京などは土地代が高いので、社員一人一人が占有している面積がどれだけのコストを占めているのかというコスト意識を持たせる方法も大事だと思う。

→重複資料を防ぐため、属人化せず共有化を徹底することが大事。

【他の分科会のテーマに関するもの】

○キッズスペースについて（ユニバーサルデザイン分会）

（参考事例）青梅市役所、町田市役所

・キッズスペースには、保育士がいるのか。キッズスペースを設置すること

	<p>で職員の負担になってはいけない。</p> <ul style="list-style-type: none">・保育士のキッズスペース交代勤務はどうか。・保育士ではなく、専属職員の常駐程度にしたい。・キッズスペースはあったら助かるが、子どもたちが怪我などした場合困るのでは。親がいなければならないと、スペースを作る意味がない。・市役所で怪我などがあれば問題になる。 →（職員）目が届く場所への設置が必要と考えている。 <p>○コミュニティスペースについて（多目的機能分会）</p> <p>（参考事例）福島県須賀川市 市民共同スペース</p> <ul style="list-style-type: none">・市民共同スペースを土日開放することは問題では。・市民共同スペース利用時は利用料を取るのか。・申請をしなくても、市民は使いたい時に使用できるのが理想。 <p>・ユニバーサルデザインなどで作って結局利用されなければ意味がない。ある程度使用実績のある先行事例調査が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none">・敦賀ならではの庁舎を作って欲しい。・展望レストランのアイデアは好評。・最上階にレストラン、キッズスペース、展望台、コミュニティスペースを集約しても良いかもしれない。・地下の食堂は入りづらい。
--	---